-65 (53 Ē

埃用新案出頭公告 昭31-677

BH 29.5.24

利

英願 昭 29-16896

出願人 考案者 代理人 弁理士

公告 昭 31.1.20

灦 啟 井 勝

布施市高井田中3の6

(全1買)

管の、嵌合端緊絡具

図面の略解

第1図は本案品の側面図、第2図は正面図、第 3 図は縦断側面図、第 4 図は一部の斜面図、第 5 図は嵌合筒の斜面図である。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本案は一端の上面に螺杆6の嵌合筒4を固定し 又他半に横溝孔9を列穿した金属帯状結具に於て 嵌合筒4の両端板11に縦向き欠除部12を設け、之 に螺杆6の両端軸部7を検架すると共に螺杆6に 相対する帯状板」の中央に、長手方向に凹面10を 形成したものである。

2は帯状板 いの下側に固着した取付板で、その 阿側縁3と嵌合筒4の両側縁とを附着する、5は 嵌合筒4の下側と帯状板1の上面間の間隙、8は 螺杆6の摘みである。

本案は上記の如く螺杆6に相対する帯状板1の

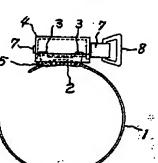
第1図

中央に、長手方向に凹面10を形成したから、間隙 5を可及的狭くでき、螺杆6の螺糸は、横溝孔9 に深く、確実に螺合し、強く締め得られる効果が あり、且螺杆6の両端軸部7を、嵌合筒4の両端 板11の縦向き欠除部12に嵌めた故、螺杆6は脱離 して紛失の歳れなく、又廻転軽快で、しかも傾動 ができて、帯状板1の他端を喰え込み易くなる利 益がある。

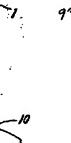
登録請求の範囲

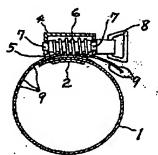
図面に示すように、一端の上面に螺杆6の嵌合 筒4を固定し、又他半に複響孔9を列穿した金属 帯状締具に於て、嵌合簡4の岡端板11に、縫向き 欠除部12を設け、之に螺杆6の両端軸部7を横架 すると共に、螺杆6に相対する帯状板1の中央に 長手方向に、凹面10を形成したゴム管の嵌合端果 締具の構造。

第2図









第3図

第5図

